

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【78】

2. 日時：令和4年2月3日 16時30分～18時20分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

義崎管理補佐、中村原子力規制専門員

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他5名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 担当※

電源開発株式会社

原子力技術部 設備技術室 担当※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

・なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	あ、規制庁ナカムラですそれではしまいに移設購入ヒアリング、弓有効吸込水頭についてのヒアリング始めたいと思いますのでよろしくお願いします。
0:00:13	中国電力の田原です。今日は、原子炉冷却系統施設内維持費、ECCSその他原子炉注水設備、
0:00:22	あと、原子炉格納施設のうち、圧力低減設備その他安全設備のポンプの有効吸込水等についてご説明いたします。
0:00:31	まず資料確認に入ります。
0:00:33	まず適正化リストとして資料番号NS2 他 036。
0:00:39	厳守元 0 側の説明書になりますけども、こちらはNNS2.1050。
0:00:48	その比較表が、NS2.1050、括弧費。
0:00:53	補足説明資料が、NS2 法、008 階 03。
0:01:00	へえ。
0:01:02	PCV側の格納施設側の、説明書になりますがこちらがNS2.1071、
0:01:09	その比較表になりますが、NS2.1071 学校費。
0:01:15	最後、補足説明資料になりますけども、
0:01:19	こちらがNSに訪問ゼロイチ 1 回 01 になります。いずれも資料提出日は 1 月 27 日になります。資料は、お手元におそろいでしょうか。
0:01:32	規制庁中村です。はい。大丈夫ですよろしくお願いします。
0:01:37	中国電力の田原です。ありがとうございます。それでは説明に入っていきたいと思います。まず適正化リストの方をご覧ください。
0:01:47	No. 136、八、九 11 中に、こちらについては誤記訂正といった類ですので、説明の中では主省略させていただきます。それ以外については、
0:01:59	説明の中で適正化した箇所についてご説明していきたいと思います。
0:02:05	当資料、
0:02:08	比較表の方用いてご説明したいと思います。
0:02:11	NS2a. 1050、括弧費。
0:02:15	ECCS側の説明書の比較表を用いてご説明いたします。
0:02:21	まず説明の前にですね
0:02:24	主な相違点を簡単にご説明したいと思います。
0:02:28	東海第 2 との相違ですけれども、島根 2 号については、残留熱代替除去ポンプ、こちらについては原理側ではなく、原子炉格納施設が、
0:02:40	この設備に位置付けてございますのでそこが相違となります。柏崎 7 号との相違ですけれども、炉型、あと高圧注水系とですね、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:51	大津の心スプレイ系等、こちらの水源について島エンドウをサブレーション現場にしているというところ。
0:02:58	両者共通になりますけれども、可搬型ポンプである大量送水車について島野連合では、附属品である水中ポンプを使用する構成、運用と。
0:03:09	としていると、こちらが主な相違点になります。
0:03:12	施設間で兼用するポンプもございまして、その位置付けなり、使い方等を踏まえまして保守的な条件になります。なるようにですね。
0:03:23	こちらの原理側、または確認施設側の説明でどちらかで示しているというところもございまして、その辺りがちょっと相違点として上がってきます。
0:03:33	それぞれについては、説明の中で、詳細にご説明いたします。
0:03:38	まず資料の 2 ページ目をお願いいたします。
0:03:44	まず目次ですけれども、先ほどもご説明いたしました通り、いろいろ設備の使い方等に応じて、水源なり、
0:03:54	対象のポンプなり異なりますので、豊島 2 号については、東海第 2 柏崎 7 号との相違として、この玄令和の説明書におきましては、
0:04:05	サブレーションプール水源のポンプとサブレーションプールを除く杉野ポンプ操法の評価を、本説明書にて実施してございます。
0:04:15	続いて 1 ぽつ概要になりますけれども、本日の説明としましては、下水設備ですね。
0:04:22	について、原子炉圧力容器に注水するためのポンプについて想定される最も小さい有効NP設置において正常に機能することをご説明。
0:04:33	いたします。技術基準規則自体、レビュー側の要求事項変更がございませんので、今回清側の説明となります。
0:04:43	2、3 ページ目で相違と記載した者との相違を記載しておりますけれども。
0:04:50	冒頭申し上げました通り柏崎 7 号とは炉型の相違、あとHパックをサブチャン水源としているというところと、東海第 2 つきましては、島根。
0:05:00	2 号機の残留熱代替除去ポンプは、格納施設側であります 8 億低減設備その他の安全設備に位置付けているという点で相違となります。
0:05:12	2 ポツが基本方針として、それぞれ、その 2.1 でサブレーションプールを水源とするポンプ、2.1 の方で、サブレーションプールを除く水源とするポンプの。
0:05:23	有効NPSHに係る方針を記載してございます。
0:05:28	4 ページ目をお願いいたします。
0:05:33	3 ポツ、評価としまして、まず 3.1 の方で、サブレーションプールを水源とするポンプの評価方針をお示ししています。こちらにつきましては、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:45	東海第 2 との比較として島根 2 号においては、LOCAないしは炉心損傷伴うような、SA時にアップ、サプレッションプールを水源とするポンプにつきまして、すなわち、
0:05:58	残留熱代替除去ポンプになりますけれども、こちらについては圧力低減設備その他の安全設備へと位置付けておりまして、6-1-8-4 の方で説明しているというところが相違点になります。
0:06:10	サプレッションプールを水源とするポンプにつきましては、
0:06:14	5 ページ目に記載しておりますけれども、工認、また、内規ですね、平成 20 年の内規に準拠して評価を行います。
0:06:25	続いて 3.2 ですけれども、こちらはサプレッションTall以外の水源のポンプの評価方針ということで記載しております。
0:06:34	続いて 3.3 から、評価分布は評価対象ポンプの選定になります。是正対応として非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備に位置付けられます。ポンプを、
0:06:48	下に記載しております。
0:06:51	はい。冒頭説明した、しました。そういう点になりますので、他社、先行プラントとの相違点についてはちょっと割愛いたします。
0:07:00	図、6 ページ目をお願いいたします。
0:07:05	施設間で兼用するポンプについてちょっとご説明いたします。
0:07:09	圧力低減設備その他安全設備と兼用するポンプのうちということで、大量送水車につきましては、こちらの維持CS側の評価条件よりもですね、
0:07:22	圧力低減設備側の評価、
0:07:25	楽譜原子炉格納容器を冷却する場合の、
0:07:28	評価条件の方が厳しいということで、6-1-8 の後程ご説明いたします。発着低減設備その他の安全設備、こちら側の方で、
0:07:40	お示ししているというところです。こういったところもありまして、他社さんとの相違というふうになっており、
0:07:48	続いて、東海第 2 との比較にはなりますが、島根 2 号の低圧原子炉代替注水ポンプにつきましては、こちらの非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備としての評価条件のほうが保守的と。
0:08:03	いうところですので、島根 2 号についてはこの説明書の方で評価しております。
0:08:09	7 ページ目をお願いいたします。
0:08:13	従ってというところ以降になりますけれども、土肥 6-1-4-3 で対象としているポンプ水源について記載をしております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:25	相違点としては、これまで説明したものと同様になります
0:08:31	8 ページ目、お願いします。
0:08:35	3.4、評価方法ということでそれぞれ、サプレッションプールを水源とするポンプ、それ以外の水源を、
0:08:43	アフリーS/P以外を水源とする本分のNP設置の評価方法についてお示しております。
0:08:53	(1)ですね、まず、サプレッションプールを水源とするポンプについてご説明します。(1)の方で評価事象を抽出しております。
0:09:04	ちょっと表が、
0:09:06	後ろの方にありますけども、ちょっと見づらいので、説明者本体側ですね。
0:09:14	NS2.1050 の方で、ちょっと簡単にご説明したいと思います。
0:09:21	説明書本体でいきますと7 ページ目になります。表 3-1 をご準備ください。
0:09:32	説明書本体の7 ページ目、表 3-1 に
0:09:37	有効性評価と、あと、またS/P制限で運転するポンプ、評価条件等、記載した表をお示しております。
0:09:46	このうちですね、
0:09:49	サプレッションプールを水源とするポンプは、AとBからE、そして、次、これらで機能を期待しているところです。
0:09:59	で、
0:10:01	こういった形で評価事象を抽出しております。
0:10:05	で、
0:10:07	各表の方でいきますと、Bポツがありまして評価条件の整理をさせていただいてますけれども、
0:10:14	この表の3-1 でいきますと、RHRLPCSHPCSにつきましては、DBAの評価において、は、
0:10:26	大LOCAで、その時にホンザイの考慮ということをしてしておりますので、評価条件としては、DBAに包絡されるというところで、と記載しております。
0:10:38	また、RCICHパックにつきましては、
0:10:43	RCICについては、DBを
0:10:46	崩落しないので、DBよりもSAの方が評価条件厳しいというところで抽出しており、1 パックについては新規設備というところで選定しております。
0:10:59	比較表の方に戻っていただいて、9 ページ目の上の方お願いいたします。
0:11:09	以上よりということで、DB施設としての使用条件を超えますRCICポンプ、また新規設備であります。Hパック、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:19	推定冷凍庫のあとNPD有効NPSHの評価をお示しいたしたいと思います。それぞれ評価事象としましては全交流電動力電源喪失を想定し実施しております。
0:11:35	続いて
0:11:37	カッコ 2 の方に移ります。
0:11:39	有効NPSHの評価条件について簡単にご説明いたします。
0:11:43	この中で、ポツになりますけども、事故後の原子炉格納容器圧力、あとサプレッションプール水の温度ということで、
0:11:52	冒頭説明しました、準用する内規の方ではですね、排圧を考慮するバーい保守性を十分考慮することということで求められております。
0:12:03	RCICネット 1 画両方ですね、排圧を考慮して、今回評価しておりますので、後程、その星節について包摂でご説明いたします。
0:12:19	あの日、
0:12:21	比較表の 10 ページ、お願いします。
0:12:24	表 3-1 は先ほどご説明しましたけども、
0:12:28	先行プラントの相違としましてはこれまでご説明しました、差異をになりますので詳細については割愛いたします。
0:12:38	3.4. 2 ということで、比較表の 11 ページをお願いします。
0:12:43	こちらは
0:12:45	サプレッションプール除くタンクを水源とする制限とするポンプの有効NP設置の評価方法ということで、3.3 で、選定しました低圧原子炉代替注水ポンプの有効NP設置。
0:12:59	続いて、評価条件等をお示ししております。
0:13:03	こちらは日有効性評価の条件ということではございませんので、記載の通り、水源の温度については、受水槽の最高使用温度を考慮する。
0:13:13	水源の水については、ポンプの取り組みを保守的に丸めた値とするといったところで条件を設定してございます。
0:13:22	3.5、評価結果に移ります。
0:13:28	目標の 12 ページをお願いいたします。
0:13:32	まずRCICポンプの有効NPSHの算定結果になりますけども、記載の通り、有効NPSHを算出し、表 3-3 ですね、の方で 1NP設置に対して、これ延べ設置が上回っておりますので、
0:13:48	必要NPSHを確保されており問題ないと。
0:13:51	お示ししており、
0:13:55	続いて 14 ページ目をお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:59	こちらは、RCIC、Hパックポンプの有効NPSHの算定結果として表の3-4にお示しております。
0:14:08	このように算出しました有効NPSHについて、表3-5でお示しております通り、必要NPSHを上回ると。
0:14:16	そこで、問題ないことを確認しており、
0:14:20	適正化が一部あります。注記のところですね。
0:14:24	動きになる、なりますけど追記しております。
0:14:28	失礼しました。
0:14:31	で、15ページ目をお願いします。
0:14:35	と3.5.2ということでサプレッションプールを除くタンク等を水源とするポンプの評価結果ということになり、
0:14:44	こちらについては17ページ目にお示しております通り、低圧原子炉代替注水ポンプについては、評価をしております。
0:14:54	評価結果を記載の通りということで、
0:14:58	表3-7にお示しますように、必要NP設置を有効NPSHを、あまり問題ないところをお示しております。
0:15:07	比較表の説明は以上です。で、補足説明資料の方、ご説明いたしますので、NS2本008階03をお願いいたします。
0:15:24	比較表は、補足説明資料の動詞ページ5ページ目をお願いいたします。
0:15:32	こちらは、RCICポンプの有効NP設置の評価を先ほどお示しましたけれども、こちらの根拠といえますか、
0:15:43	算出根拠についてお示しているところになります。
0:15:48	そのうちですね一番上のA1AのF吸込球面に採用する絶対圧力。
0:15:54	につきましては、
0:15:57	下の方にありますHSも関連しますけれども、開発を考慮しているところがありますので後程補足2の方でご説明いたします。
0:16:11	次のページ、通し6ページ目をお願いします。
0:16:15	こちらHパックの評価の根拠になります。こちらA1Aについて、後程、排圧をRCIC同様、考慮しておりますので補足2でご説明します。
0:16:30	ここでhaの根拠の欄ですね、Hパック、ポンプの名称を書くべきところはRCICポンプの名称を書いてございましたので、ちょっと次回以降訂正いたします。
0:16:41	失礼いたしました。
0:16:45	で、7ページ目、こちらが低圧原子炉代替注水ポンプの根拠になります。
0:16:52	詳細は割愛いたします。
0:16:54	続いて、補足2としまして、先ほどご説明しましたRCIC Hパックポンプ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:02	つきましては、原子炉格納容器の開発を評価上考慮しているというところがあります。ない内規の方でも申し出を、
0:17:11	確保することということで、記載されていますので、今回
0:17:18	少し感度解析。
0:17:19	実施しまして、
0:17:21	挨拶の方を設定しましたので、ご説明いたします。
0:17:26	まず1ポツの方、評価事象の選定ということで、まず(1)の方で評価事象を選定し、(2)、調査の評価事象が包絡しているかを、お示しております。
0:17:40	まず、11ページ目の表でご説明したいと思います。
0:17:46	11ページ目の第1表をご確認願います。
0:17:51	とあるシャシーへ1パック、それぞれが機能を期待する。
0:17:57	この表で整理し、
0:18:00	表の右から2番目ですね、開発条件として、どうかというところを記載しております。
0:18:08	2.5の原子炉停止機能喪失については、長期TBに比べてサプレッションプール水温を高めになります、規格の圧力の上昇が早いということもございますので、
0:18:19	長期TBよりも、RCIC停止時の、原子炉格納容器の開発が大きくなると。
0:18:25	こういったところ、事象の進展等を踏まえまして、RCICにつきましては、他の、
0:18:33	重要事故シーケンスに比べて、運転時間が長く、停止時の%プレッションプール水温が高目になって、原子炉格納容器の20日小さくなる長期TBをRCICの、
0:18:44	代表事象として選定しております。
0:18:46	長期TBとティータ分につきましては、同様。
0:18:50	表、事故進展としてはどういうふうになりますんで、長期TBを代表としているところでもございます。
0:18:58	Hパックにつきましては、TBU、TBD、こちらが
0:19:03	平均を期待しておりますので、こちらの方を代表事象として選定しております。
0:19:10	少しページ戻っていただきまして、
0:19:14	今申し上げた通りで、
0:19:18	評価事象の方を選定しております。2ポツとして、
0:19:23	解析条件の方を整理してございますので、通しページの12ページ目をお願いいたします。
0:19:31	こちらの表は、一番右に有効性評価における解析条件をお示し、左の方に、今回の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:41	NP設置のためにですね、保守性を確保するための解析条件をお示しております。
0:19:49	上二つのパラメータですね、学歴圧力等を含む急激運動こちらについて有効性評価の解釈から少し条件を見直しております。
0:19:59	まず格納器圧力については、
0:20:01	有効性評価の解析条件 5kPaに対して耐気圧、
0:20:06	設定しております。それに、
0:20:09	に設定することによりまして、実機条件に対して低めの値に設定し、初期圧力が低い方が、ポンプ停止時の格納系活力が低くなって発が小さくなると。
0:20:20	いうところで選定しております。
0:20:22	格納容器雰囲気温度については 57 度に対して 10 度を設定しております。こちら、この影響によりまして、ポンプ停止時の格納容器圧力が低くなって、排出が小さくなるというところで設定しております。
0:20:35	いずれも、
0:20:37	この条件設定につきましては、先行プラントのうち東海第 2 と同様の条件設定というところでございます。
0:20:47	行革解析条件の設定になりまして、続いて評価結果についてご説明いたします。通しページの 13 ページを。
0:20:56	の方に
0:20:58	NBA値の算定結果をお示しております。また、
0:21:05	8 ページの 14 ページ目の方に、必要NP設置に対する、横江NPSHの値を記載しております。こちらを先ほど、比較表等でご説明しました値の通り、
0:21:16	先ほどの 2 ポツでお示しました解析条件に基づいて実施した解析結果を、15 ページ目以降に、5、
0:21:26	お示しております。
0:21:29	例えば長期TB、RCICの評価としましては、
0:21:35	第 1 図ですね、P15 の第 1 図にお示しておりますけれども、というNP設置の、今回の評価解析の方が、
0:21:45	有効性評価の解析よりも
0:21:48	フタミに推移するというところで、こちらの値を丸めて、今回
0:21:53	NP設置の評価条件として設定しております。
0:21:57	サプレッションプール水温度につきましては、
0:22:00	100 度 200 \$ 停止ということでその値で設定しており、
0:22:07	第三部の方ですね、こちらを時刻歴で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:12	RCICポンプの有効NB設置をもうお示したものになりますと実線が今回、実施した解析に基づく、NP設置の値で点線の方が、
0:22:24	有効性評価をベースとした、とNPSHの値になります。
0:22:30	多少水曜の変化とかありますけれども停止時、停止するタイミングにおきましては、有効NPSH今回実施しました条件のほうが厳しいというところで、有効NPSHの値を示しており、
0:22:43	保守性は確保されているというところになります。
0:22:47	Hパックについても同様でして、17 ページ目、第 6 図になりますけれども、同じように今回実施しました解析条件で実施した。
0:22:57	という抜け設置の値の方が、有効性評価雲間厳しく設定できている。
0:23:02	ところで示しております。これは解析等を用いた結果を丸めて、今回NP設置の説明書では、
0:23:12	評価条件として設定し評価しているところで、十分保守性は確保できているというふうに認識しております。
0:23:19	補足 3 につきましてはRCICのストレナんついの圧損。
0:23:26	簡単にお示したものですので、導出過程等を示したものですのでちょっと詳細を割愛させていただきます。
0:23:34	玄令和の説明は以上になりまして、
0:23:37	続いて、核抜き側の格納施設側の説明に入ります。
0:23:43	こちらも比較表でご説明いたします。
0:23:46	資料番号はNS2.1071 の括弧費になります。
0:23:54	まず 2 ページ目の方、お願いいたします。
0:23:58	当間冒頭申し上げました通り、いろいろ設備の使い方と、また県様の整理と違いますので、目次をご覧いただけた通り、島根 2 号機につきましては、
0:24:10	サブレーションプールを水源を除く制限ポンプにつきましては、先ほどの原理側の方で評価を実施してございます。
0:24:20	その下 1 ポツ概要で、訂正活動ありますけれどもか。
0:24:26	原子炉格納容器除熱ということで、S/P制限。
0:24:31	そうですね。制限するポンプの機能等を踏まえまして、先行プラントの記載等も含め冷却という文字から、
0:24:40	冷却というところから除熱というところで修正しております。リストのナンバー4。
0:24:45	当たります。
0:24:47	続いて 3 ページ目をお願いします。
0:24:51	は、今回も
0:24:53	こちらの説明書につきましても、先ほどと同様に、埋設について

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:00	NP設置が正常に機能することを説明するものになります。
0:25:05	下の方ですね、
0:25:07	溶融炉心の現状確認か弁落下の遅延、または防止というところで、適正化リストにも、
0:25:15	お示しておりますけれども、記載のほうを修正してございます。
0:25:19	ちょっとこちらの方ですね設置許可なり、その文脈等を踏まえ修正しております。ベストNo. 5にあたります。
0:25:27	2 ポツが基本方針ということでこちら先ほどご説明しました方針になりますので、割愛しますが、
0:25:35	4 ページ目ですね。
0:25:37	先行プラントの相違ということで、
0:25:40	島根 2 号機につきましては、
0:25:43	6-1-4-3、先ほどの原理側の説明書と、本説明書で双方に吸込口。すいません、大量送水車のポンプ吸込口。
0:25:53	など、そういった異物混入防止の方針、双方に記載しておりますこちら記載、記載構成の相違ということで、そういう点としてまとめております。
0:26:05	続いて 3 ポツ評価に移ります。
0:26:08	その 4 ページ目の一番下、下のところですね、水源のということで、黄色のマーカ-Aとつけてありますけれども、先行プラントさんの記載等を踏まえ、
0:26:20	評価条件、明確にするという意味で追記をしております。
0:26:25	こちらの方ですね、原理側の説明書と異なりまして、5 ページ目に記載しております通り、6%を
0:26:37	想定した事象を扱うということで、記載しております。
0:26:41	まず、6%を想定しますので、しますけれども、破断形態としましてはDBAと同等ということで、本来の破損、営業班や、その発生量については、DBAと同等ということに記載しており、
0:26:56	ただし書きで書いております通り自主対策設備として、
0:27:02	pH制御を実施しますので、そちらの影響についても考慮するということ、
0:27:07	記載しております。で、先ほども原理側でもお示しました通り、こちらの方も、既工認を、内規の方をですね、降りまして評価を実施し、
0:27:19	いたします。
0:27:20	続いて 3.2、こちら 3 プレッションプールを除くタンク等を制限とするポンプの評価方針ということで、こちら原料側と同様になります。
0:27:29	3.3 評価対象ポンプの選定ということで、圧力低減設備その他の安全設備としてエントリーしておりますポンプを別途、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:39	いうふうにお示しております。
0:27:42	で、この中でですね、6 ページ目になりますけれども、島根 2 号機の大量送水車につきましては、先ほどご説明しましたけども、
0:27:54	原理がよりもですね格納施設側での評価条件の方が保守的ということでこちらの方で説明するということにしております。
0:28:04	で、
0:28:06	それが他社との相違。
0:28:09	として挙げております。
0:28:13	あと、
0:28:16	続いて 7 ページ目になりまして、大量送水車自体は附属品である水中ポンプ等を使いますので、今回評価対象外として、前段のページで説明しておりますので、
0:28:29	本資料におきましては、残留熱代替除去ポンプを評価対象ポンプとして、
0:28:35	挙げております。
0:28:37	3.4 が評価方法になります。
0:28:40	残留熱代替除去ポンプの評価に当たりましては、SA時の事象の整理等評価条件の考え方等を整理しております。
0:28:50	これも先ほどと同じように有効性評価の表を整理しておりますので、ちょっと説明書本体側の方をちょっと。
0:28:58	ご覧いただきながら説明したいと思いますので、
0:29:02	ご準備の方よろしくお願ひします
0:29:06	藤説明書の本体の、
0:29:11	ページでいきますと 9 ページ目をお願いいたします。
0:29:14	もちろん、表の 3-1 になります。
0:29:23	下の表の 3-1 の下の方ですね、炉心所の仕上りのところで、事象としては 1 から L までをまず考えますと、
0:29:33	残留熱代替除去ポンプにつきましては、
0:29:38	発生物量等の観点から、
0:29:42	どっか、破断形態が大破断であります。
0:29:47	雰囲気圧力温度による静的負荷ということでこちらの方を選定いたします。
0:29:52	正しいということで注記で※2 を振っておりますけれども、DCH1 につきましては一部水源の圧力温度等が 1 の事象を、
0:30:07	上回ると言ってもございますので、こちらの水源の、本多チェックを、
0:30:13	購入するということで注記を振っております。
0:30:21	比較表の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:23	10 ページ目をお願いします。
0:30:27	今ご説明しました通りRHR残留熱代替ポンプについては、基本的にはA1 があります加圧管を、
0:30:38	事象を選定しますけれども、本田圧力等の影響を踏まえまして、李設置。
0:30:44	こちらの方の評価事象も考慮し、評価を実施するということ。
0:30:50	お示しております。
0:30:51	こちらの方、評価方針の総意として東海第 2 柏崎 7 号機の、そういう点として挙げております。
0:31:01	(2)になりますけれども、こちらの方で有効NP設置の評価条件をお示しております。そのうちですね、ポツの事故後の原子炉格納容器圧力サプレッションプール水の温度。
0:31:13	つきましては、先ほどRCIC1 パックでご説明しました通り、ちょっと排圧を考慮する。
0:31:20	いうところがございますので、後程補足説明資料の方でその保守性について、お示しいたします。
0:31:27	ここ、こちらの方評価条件の際、総意として、東海第 2 との、
0:31:33	差として挙げており、
0:31:36	続いて 9 ページ目。
0:31:38	ここでcポツ、ストレーナーの異物付着による圧損上昇ということで、
0:31:44	なお書き以降ですね、なお記載しておりますけれども、年 2 号機につきましては、ストレーナーの通水流量として、
0:31:52	RHRポンプ運転時の整備が 150 に対してそれを上回る量を設定しております。
0:31:59	こちらの方東海第 2 との相違というところに、
0:32:04	以上まとめたものが先ほどの表 3-1 にありますので、詳細については割愛いたします。
0:32:11	続いて 3.4、10 ページ目ですね比較表 10 ページ目の 3.4. になりますけれども、
0:32:17	サプレッションプール除くタンク等を水源とするポンプにつきましては、島根 2 号については評価対象ございませんので、
0:32:26	記載しておりません。
0:32:28	3.5、評価結果に移ります。
0:32:31	表 3.2 ですね、方に記載しておりますけれども、このように算定した有効NK設置について、次のページですね。
0:32:42	表の 3-3 にお示しております。取引及び設置を、有効NPSHが回る。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:49	で、問題ないところを示しております。
0:32:52	以降
0:32:54	先ほど申した通りS/Pを除くタンク等の水源の評価結果はございませんので、説明は割愛します。
0:33:03	通しページ 15 ページ目をお願いいたします。
0:33:08	別添 1 としまして、SGのECCSストレナーの異物着による圧損上昇評価ということで資料。
0:33:16	つけておりますので、そちらのご説明をいたします。
0:33:23	比較表の 17 ページをお願いします。
0:33:27	簡単に評価の流れをご説明いたします。まず(1)として本来の破損量評価を行います。こちらについては、内規等に依りまして実施しておりますDBAと同様というところに、
0:33:41	括弧 2 として本Asano問題のECCS水源への移行量評価ということで、石井水源への移行量を評価しております。こちらもMITに従って行っており、DBAと同様の結果となっております、
0:33:55	続いて(3)ということで、本体以外にですね非物の、
0:34:00	ECCS水源への移行量評価ということで、次、成人に発生が想定される異物につきまして、ECCS水源への移行量を評価しており、
0:34:12	それで(4)として最後異物付着による圧損上昇の評価ということに、
0:34:17	2 ポツの方が、金属反射型ホンザイによる圧損上昇値の評価手法を記載しております。
0:34:25	そのうちですね、選出非常異物あと化学影響生成物、こちらはpH制御により発生が想定される物になりますけれども、
0:34:34	これについて圧損上昇につきましては、Bポツ、cポツにお示している評価の仕方を、いずれか大きい方を採用するというので案をお示しております。
0:34:49	続いて 18 ページ目、お願いします。
0:34:53	こちらの方から、2 ポツ以降ですね、各破損量の評価。
0:34:58	を行っていきます。
0:35:01	協議の 12 までは、問題の最大破損量を示しております。他社さんとの相違としましては、
0:35:09	島根 2 号機の一般本としてはパーライト本税、実質は計算から心臓、同じような問題になりますけれどもこちらの方を使用していますので層位として上げており、
0:35:21	2.2 の方が、その破損、本剤の量から、ECCS水源サブチャンーの方へ移行する量を設定しており、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:31	19 ページ目をお願いします。
0:35:34	2.3 はホーム以外の異物の移行量評価ということで表 2-3 に、その内容を記載しております。
0:35:44	異物の種類としまして下二つ以外については、DBAの評価の中で考慮しているものと同じになる。
0:35:53	一方で下二つですね、耐DBA仕様塗装、SA事項量というものと、提供生成物として挙げている、この二つにつきましては、今回清特有の異物としてということで、考慮しているものになります。
0:36:08	3.1 の方で、いろいろ評価に係る条件について整理しております。
0:36:14	まずストレナーの器具。
0:36:16	付着による圧損上昇評価に用いる流量ということで、先ほどもご説明しましたけども、RHRポンプの注水流量を上回る流量ということで 150 を上回る流量にて表。
0:36:29	条件を設定しております。
0:36:31	こちらの方、
0:36:32	比較 20 ページの表 3-1 の方でお示しております。
0:36:37	3.2 が試験装置の概要になります。主計のプールに水を張りまして、このような系統構成にて、試験の方を実施しております。
0:36:47	表 3.3 以降が試験条件になりまして、試験のスケーリング比でまた試験NEAT 知見人投入する異物の物量等をお示してありまして考え方は先行プラントと同じになりますので、
0:37:01	詳細については割愛いたします。
0:37:04	そのうち、21 ページ目ですけども、
0:37:08	※2 ということで、選出本体の扱いについて記載しております。これもセンコーさんと同じにはなりませんけれども、実際D/W内にですね、本題の方、選出ポンベの方を撤廃してございますので、
0:37:22	その評価条件としては選出ゼロというふうになります。
0:37:26	ただしということで書いておりますけれども、評価式を適用する場合ですね、選出 0 ではちょっと評価できないというところもございまして、
0:37:37	少量のですね選出ホンザイを、実際には試験時、導入して実施しております。
0:37:45	続いて 22 ページ目をお願いします。
0:37:48	3.4 が、異物付着による圧損上昇の評価ということであの日、
0:37:55	(1) でまず金属橋型本剤の付着による圧損上昇の評価、それ以外の異物について(2)の方でお示しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:03	先行プラントとの相違ということで
0:38:09	22 ページの真ん中辺りですね、HRMy=って始まる式がございますけれども、評価方針の相違ということで柏の喜納との相違になりますが、島根 2 号機につきましてはこの、
0:38:22	金属橋型ホンザイのその上昇評価におきまして、JTという金属はこのギャップ厚さを用いますけれども、この兄弟の大変観点の際ですね、inchからメートルに関連しますけれども、
0:38:36	特にここでは保守性を考慮しないということで、
0:38:40	単純な体幹部の値を用いているというところで、
0:38:45	23 ページ目をお願いします。
0:38:49	金属反射型ホンザイの越冬。
0:38:52	緒元と損上昇の方を表 3-3 の方で御示しております。
0:38:57	今回の評価に関係するところではございませんけれども、評価条件の差異というか、注記の相違になりますけれども支配人が多くですね、既工認においては、
0:39:07	金属反射型問題なしで評価しておりましたので、その旨記載しており、
0:39:13	続いて(2)が選出粒子状溶融物、あと化学影響生成物に関する破損上昇の評価になります。
0:39:21	あと算出方法の相違としましてカシワギエザキ 7 号機との相違点を示しております。
0:39:28	真ん中辺りですね、
0:39:30	ウエキでグリーン図=って始まる式の最後に+HCということで、記載しております。
0:39:37	化学影響生成物による、このATCというのは化学影響生成物に該当しますけれども、こちらの損料処置につきましては、保守的な評価になりますように、
0:39:49	最初この別添でご説明しましたので、1-1。
0:39:53	(4)でお示しておりました、B、Cというものがあまして、そのいずれか大きい方を採用するというので島根 2 号機については、圧損試験でられた値を直接用いる方が保守的であったため、このように、
0:40:12	25 ページ目をお願いします。
0:40:17	あと先ほど申しました、HCですねは、
0:40:20	化学影響生成物の損上昇値につきましては、
0:40:25	ここに記載してます通り、
0:40:28	その試験時にですね、化学影響生成物としてLをA1 というものを投入しますが、これの導入前後の圧損値を、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:39	短管関しまして、圧損値として出して、
0:40:44	うん。
0:40:44	こちらの方が保守的ということで分割して出しているところで、
0:40:49	26 ページ目をお願いします。
0:40:52	記載箇所の相違にはなりませんけれども、東海第 2 とは今のご説明しました。
0:40:59	被災地の総意ということで
0:41:01	最後、記載しております。
0:41:04	3.5 が結果になりますけれども、その知見から導き出しました。圧損値につきましては記載の通りということで十分小さい値ということで確認しており、
0:41:18	それら結果をまとめたものが、27 ページ目、表 4-1 の方にお示しております。
0:41:25	金属反射型ホンザイ。
0:41:28	ご選出粒子状の異物化学影響生成物の圧損上昇値を、表に記載しておりますのでこれの合計値についてまとめており、
0:41:37	こちらの方の値を用いまして、先ほどご説明しました説明者の方で、
0:41:44	トレーナーに付着した異物による圧損上昇値ということで、採用しており、
0:41:50	説明書の、
0:41:53	説明は以上になりまして少し最後補足説明資料を用いて、
0:41:59	ご説明したいと思いますので資料ナンバーNNE方 011 回ゼロイチ方。
0:42:06	よろしくをお願いします。
0:42:09	基本的にはセンコーさんと同じような資料構成になっておりますので、詳細については割愛していきますけれども簡単に概要だけご説明いたします。
0:42:18	1 ポツがナイキとの比較ということで今回
0:42:22	ナイキの方を準用しておりますので、ナイキに対してどのように評価しているか、既工認でどうあったか、先行として柏崎 7 号の方は右の方に記載しております。
0:42:33	基本的にはですね、連携事業して評価してございまして、
0:42:38	また柏崎さんとの
0:42:41	考え方については相違ないというところをお示しております。
0:42:46	ちょっと詳細については割愛いたします。
0:42:50	続いて、通しページ、17 ページ目。
0:42:54	2 番目の資料としまして、SA時の発生物量評価ということで簡単にご説明いたします。
0:43:01	先ほど試験等で用いてる試験、物量ですね、まずは確認を比べて発生が想定される物量の方がまず、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:11	この中で、整理しておく。
0:43:15	で、Cページ、23 ページ目をご覧ください。
0:43:20	こちらの方にも、まとめておりますが、考え方はセンコーさんと同様というところ です。
0:43:28	選出問題は先ほどご説明しました通り、すべて撤去。
0:43:33	いうところで、0 というふうに設定してございます。
0:43:37	また滞留車両塗装につきましては、SA時はDBAと比べても、照射線量が高 いと。
0:43:44	高温状態が継続するということもございますので、保守的に全量見込んだ評 価ということで記載しており、
0:43:53	また化学影響生成物につきましては、格納容器内に存在しますアルミ垂鉛と いったもの、こちらの方内容解析室は想定し評価している。
0:44:05	こちらの方温度がパラメータになりますので、加圧過温のシナリオ、また技術 のシナリオと両方考慮しながら設定し、算出しております。
0:44:17	一番下ですね原子炉本体基礎内の構造物ということで、別紙の方をお付けし ておりますけども、重いものは、非常勤が沈む比重が小さいものは、
0:44:28	副というところがございまして基本的に影響ないと。
0:44:31	ところであの、
0:44:33	0 考慮しちゃ 0 ということで記載している。
0:44:37	続いて 24 ページ目をお願いします。
0:44:40	この 3 ポツにつきましては、SA時のECCSストレナーの圧損試験についてま とめたこのものになります。
0:44:47	試験概要、条件結果をまとめたものになります。
0:44:52	そのうちですね、
0:44:56	28 ページ目をお願いします。
0:45:00	2 ポツで整理しましたSA時の発生が想定される異物量から、あっせん、圧損 試験の方、スケーリング費等から勘案しまして表 3-4 に示す物量を、試験時 に投入しているというところ。
0:45:16	後程、ちょっと簡単にご説明しますけども通しページ 30 ページ目以降に示す 要領に従って試験の方を実施してございます。
0:45:24	6856
0:45:26	図の 3 の方に圧損試験結果を、お示しておりますけども。
0:45:32	所定の時間、また所定の判定基準に対して、明日の制定が、
0:45:37	していることを確認しております十分小さいということも、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:47	30 ページ目以降が先ほど申しましたその試験の要領をまとめたものですこちらもセンコーさんと同様ですので詳細については割愛いたしますが、
0:45:58	本当に試験の流れだけご説明。
0:46:02	します。
0:46:03	38 ページ目をお願いします。
0:46:06	こちらの方で試験要領、手順の方簡単にお示しております。まず、異物の準備として、水の方に、所定時間比＋。
0:46:16	その後、異物をまだ投入していない状態で、地形のポンプを運転しまして国が損測定すると。
0:46:24	続いて器物を記載順序によって、
0:46:29	順次投入していくというところになります。
0:46:32	この時ある金属橋型ホンザイからIDCを塗装エスエイチ工業、
0:46:38	いうところを順次入れております。別で続いて測定を行いまして、所定時間、経過した後、所定の判定基準に従いまして、圧損が静定したことをまず確認。
0:46:51	その後ですね、深く影響生成物の方、七番の方で、リブツ投入して同じことを、
0:46:58	六番のと同じ測定を行います。
0:47:01	最後に、その辺りと、
0:47:04	確認して試験終了という流れになります。
0:47:07	こちらの方ちょっと絵に。
0:47:09	落としたのは、40 ページ目にも、
0:47:13	図 5 になります。
0:47:16	IV。
0:47:17	涌井吸水性物の評価の仕方ということで少しここ、これを使ってお示しますけれども、1 枚 2 号機につきましては、
0:47:28	図中のHCですね、ここの値。
0:47:33	試験結果から出しています。
0:47:35	評価し、評価の仕方としては、一、二を直接出してへと。
0:47:41	例えば 1、1 と A1c を足したものを、1、2 を比べて、おっきい方を表評価結果として採用するというので、1 枚 2 号の場合キーを個別に出した方が保守的であったため、
0:47:55	そのようになっております。センコーさん、先行プラントにおいては、一、二を出した方が保守的なプラントもございますので、そのように、費用両方比べた上で算定しているというところ。
0:48:09	で、4 ポツ、42 ページ目になりますけれども、これが SA。
0:48:14	今回の圧損試験における補正ということで記載しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:18	いずれも先行プラントと同じような記載となっております、
0:48:24	ので、
0:48:25	については、
0:48:32	1 ページの 45 ページ目をお願いします。
0:48:35	残留熱代替逆ポンプの評価における根拠を、この中でお示しております。
0:48:45	設計ですね。
0:48:47	こちらの方後程簡単にご説明しますが、
0:48:51	ハイアートちょっと考慮する必要がありますので、そのようなことを記載しております。
0:48:58	それでは星ページの、
0:49:08	61 ページ目をお願いします。
0:49:12	RK安全技術代替所ポンプにつきましては排圧を今回考慮しておりますので、RCIC1 パックと同様に、感度解析を行ってその値を使って、
0:49:24	NPDHの方を評価しております。
0:49:27	まず先ほど同様に評価事象選定包絡性を確認し、解析条件設定し、評価の方を実施してございます。63 ページ目の方をお願いします。
0:49:39	こちらの方で先ほど同様に評価事象は整理しております。
0:49:43	結論から申しますとDCHの方を選定して評価の方を実施してございます。
0:49:49	他の確認系破損モードに比べまして、格納容器圧力が上昇しますけれども、
0:49:55	サブレーションプール水温も高く推移するということで、格納容器の早くが小さく、
0:50:01	いうところ。
0:50:02	念のためということで一番上のですね、加圧過温のシナリオともうちを比較した上で問題ないことを確認して代表事象として選定しております。
0:50:15	続いて、65 ページ目の方で解析条件を示しております。
0:50:21	先ほどは格納容器圧力と雰囲気温度の方をパラメーターとして変更しておりましたけれども、いろいろパラスタした結果ですね、一番下の、
0:50:31	可搬式窒素供給装置を用いた覚悟検知中に、こちらの方の条件を変更、有効性評価と比べて変更し、今回、解析。
0:50:42	の方行っております。有効性評価の方では注入ありという条件にしておりましたけれども、注入なしということにしております。実際実機運用と異なりますけれども保守性を確保するために設定しております、
0:50:54	実施しないことによりまして格納容器の範囲が小さくなるというところで保守性を確保した解析を実施しております。
0:51:01	こちらについて簡単にご説明しますので 67 ページをお願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:08	上の図 3-1 の方は先ほど申しました通りか使うに比べて
0:51:13	隣接の方のシナリオの方が
0:51:16	ちょっと厳しく水NPSHとしては厳しく整理するということをございます。
0:51:21	図 3-2 の方で、お示しております通り、括弧書きの圧力。
0:51:28	つきましては、ぜひ、窒素注入ない方が低く生育するということで、威圧としては厳しく設定できているということになります。その結果になりますけれども、最終ページの 68 ページ。
0:51:42	こちらの方で、図 3 のようにお示しておりますが、有効性評価に対してですね、注入なし。
0:51:49	条件にすることで、融解のペース設置も厳しくなるということから十分に保守性を確保した、表評価条件を設定できているということをお示しております。
0:52:00	ご説明は以上です。
0:52:32	規制庁仲村です。ありがとうございました。ちょっとこれ確認だけなんですけど比較表 4 ページで、
0:52:45	2.2 の、
0:52:47	2 段落目ですかねこれも本%から始まって、
0:52:52	異物の影響について考慮不要とするっていうふうにあるんですけど、これはあれですか、ストレーナーとか考えなくてそもそももう、
0:53:01	異物が入ってないから。
0:53:03	考慮しないという意味ですか。
0:53:07	中国電力の田原です。石井元令和の比較表でよろしかったですかね。それです。まずご回答いたします。
0:53:17	例えば第 2 貯水槽につきましては、
0:53:21	警察だったり、
0:53:25	入ってくる水に対してろ過した水を入れるといったところをございますので、異物管理された水を入れるということで、そのような旨で、考慮不要ということで記載しております。以上です。
0:53:56	規制庁仲村です。
0:53:59	今言われたのは和田院長清掃に入れるときに、
0:54:05	ろ過した水を入れるからってということですよ何か。
0:54:09	実際にポンプで取る時ってストレーナをつけてましたっけ。
0:54:15	中国電力の田原です。すいません。今のご質問は多分大量送水車の附属品の水中ポンプ等にリブツ防止のフィルターをつけるかどうかということで理解しました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:28	その下のまた書きで記載しております通り、大量送水車につきましては附属品であります水中ポンプに、異物混入防止のフィルタを設置します。
0:54:41	ので、実際にはそちらでも実際、仮に物ある場合はそこらでキャッチするということにございます。
0:54:50	仮にですね、詰まった場合につきましては、閉塞の回復等を行って、対応していくということ、その下の方に記載しております。以上です。
0:55:02	規制庁ナカムラさんは了解しました。流通営業部でこういう不要とするっていうのが、なぜその考慮不要なのかっていうのが、今言われたLOCAシミズ0とか、
0:55:15	どっか水入れときにそれが使うとかそういうことがわかれば、ちょっと記載いただきたいんですけど可能でしょうか。
0:55:23	中国電力の田原です。了解しました。こちらの方、説明書本体に記載する形でしょうか。
0:55:34	規制庁仲村です。ちょっとそこは検討いただけると思うんですけども、こういうふうする理由っていうのが、ここに書いてあるわかりやすいかなと思いますので、よろしくお願いします。
0:55:47	中国電力の田原です。了解しました。
0:55:51	その次にフィルタの清掃は短時間で可能であるっていうのこれ、どれぐらいを見ておられるんですか。
0:56:01	中国電力の田原です。これまでちょっと実際や、いろいろやってみたところですけども。
0:56:08	大体 10 分から 20 分の間ぐらいで、いろいろやモックアップした間限りでは確認しておりますので相場感としては
0:56:19	ような程度です。以上です。
0:56:23	規制庁仲村です。了解しました。
0:56:28	これは補足で結構だと思うんですけど、短時間というのは、どれぐらいの時間を見ておられて、
0:56:36	何に対して短時間だから、
0:56:39	これぐらい時間だから大丈夫だよってのがわかれば、ちょっとありがたいんですけどそれって、補足説明しようとかで説明可能ですか。
0:56:51	中国電力の田原です。まず、時間どの程度かというところを了解しました。
0:56:57	あとちょっと何に対してっていうのは確かにありますので少し検討して、補足説明資料の方でちょっと検討したいと思います。以上です。
0:57:08	規制庁仲村です。よろしくお願いします。
0:57:14	はい。規制庁吉崎です。比較表の 6 ページ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:22	権益の真ん中の下線ところなんですけども、伊藤データ分が書いてあって、
0:57:31	圧力提言書杉井の方が評価上厳しいから投機的である。その下は、ウェルSRは、
0:57:40	こっちのが厳しいからコンテンツ。
0:57:43	矢田全体で
0:57:46	ポンプのリストがあって、どの状態の時に、どれが厳しいから、これが元例ですと、これが何だ、格納とか、そっちの方なんか、李須藤に示してどれが一番高い状態だから、
0:58:01	施設区分はこっちですっていうふうに示していただきたいんですけども、可能なんでしょう。
0:58:08	中国電力の田原です。了解しました。兼用するポンプ、今回大量送水車等FSRの方になります。
0:58:17	今、吉崎さんおっしゃられた、
0:58:20	ところですね例えば、評価条件、
0:58:23	令和で若生加来の瀬川でこういったようなちょっと簡単なリストを作って、補説の方でお示したいと思います。以上です。
0:58:33	規制庁井関です。補足のほうでいいので、そういったものを出していただいて、明確にしていきたいというのが趣旨なので、よろしくお願いします。
0:59:40	規制庁仲村です。
0:59:43	圧力低減設備の本体の9ページの表3-1。
0:59:50	のところなんですけど。
0:59:53	ちょっと先ほどちょっと説明があったと思うんですけど
0:59:59	園地とIの包絡関係をちょっともう一度説明いただけますか7ページ。
1:00:06	妥当、
1:00:08	HとIを両方やってるように見えて、
1:00:12	ねえ。
1:00:13	表だと、或いは1に包絡っていうふうになってるのでちょっとその関係をご説明いただいてもよろしいですか。
1:00:22	はい。中国電力の田原です。表3-1の方でご説明いたします。
1:00:30	えっと、市の方はですね、
1:00:33	まず破断形態は大破断LOCAということで、ホンザイ等の考慮が必要ということになります。当然、水源夏井今度も厳しくなるということ
1:00:45	代表事象として選定しております。一方で、
1:00:49	DCHの方ですけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:52	こちらの方は破断形態なしということで、ホンザイといった問題などの異物の考慮は不要。
1:00:58	不要というか、考慮同じとなりますので、基本的には市野勝川の方で十分よろしいかなと思っております。
1:01:09	李平地の方ですね、
1:01:13	NPの圧力であったりサプレッションプールの温度だったり、ちょっとその辺見ていきますと、この
1:01:22	1の当時商品値よりも上回る箇所もございますので、水源の圧力。
1:01:30	温度といったところにつきましては、こちらもほぼ包絡したというところで、
1:01:37	簡単に言えば、1とはいえの厳しいとこ取りをして評価しているというところになります。以上です。
1:01:52	規制庁仲村ですなんで1D、相賀栄喜に包絡されてるというよりは、
1:02:01	延期との
1:02:04	条件で一番厳しいものを組み合わせたものでやったって理解でよろしいですかね。
1:02:10	中国電力の田原です。はい。ご理解の通りですちょっと記載ぶりはちょっと多少悪かったかなと思いますけども、注記の2ですね、の方で一応事象は考慮するということはちょっと謳ってましたので、
1:02:23	ホンザイ等の、
1:02:25	ことも考えて事象包絡ということで記載しておりました。以上です。
1:02:37	規制庁仲村です。それではこの中機能2のところ、もうちょっと、
1:02:43	先ほど言われた
1:02:45	例えば大破断LOCAがないんで本来等の異物の考慮は範囲の方では、
1:02:51	しないけれど、
1:02:55	ここに注記今に書いてある水源圧力水位が上がってる項目等については、厳しいため、考慮するみたいなそういうことが、はい。
1:03:04	であればちょっとわかりやすいかなと思うんですけどいかがでしょうか。
1:03:09	中国電力の田原です。了解しました。ちょっと理由等等ですね、記載したいと思います。以上です。
1:03:16	規制庁仲村です。よろしく願いますそれとあわせて7ページのところの、以上よりのところもちょっと同じように要は二つを組み合わせるっていうのは、
1:03:28	わかるように記載をいただければと思いますが、よろしいでしょうかちょっとこのままだと
1:03:35	1とiでそれぞれやって、違う表が出してるようにも見えるので、よろしく願います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:43	中国電力のタフ了解しました。
1:04:22	規制庁仲村です。すいません比嘉原因で、圧力低減設備の比較表の6ページ、
1:04:29	大量送水車の附属品じゃ水中ポンプはいて、
1:04:36	NPSH変わる条件としてっていうふうに記載があるんですけどこれちょっと詳しくご説明いただいてもよろしいですか。
1:04:45	はい。中国電力の田原です。請求ポンプにつきましては
1:04:51	記載しております通り水中に麻痺詰めて運転するということで、水面からの、
1:04:59	高さですかね。
1:05:02	沈めたときの、高さ方向について、空気を吸い込まない位置っていうのもありますので、それ以下に設定
1:05:11	沈めて、運転するということ。
1:05:15	そういった意図で記載しております。そうすることでキャビテーション防止ということを図っております。以上です。
1:05:25	規制庁ナカムラ了解しました理解できましてありがとうございます。
1:05:35	規制庁吉崎です。
1:05:37	これもう、何か、
1:05:39	圧力低減設備の方の比較表の、
1:05:43	17ページ。
1:05:46	ちょっと説明あったんですけど。
1:05:48	17ページの(4)の異物チェックにより、
1:05:52	圧力上昇の評価でDCで、
1:05:57	Bの方が大きいということによろしいかったですかね。
1:06:02	中国電力の田原です。はい。ご認識の通りです。Bの方は、
1:06:11	選出放流市場についてはこの評価式を用いて算出をします。化学影響生成物については、導入前後の圧損力。
1:06:23	直接、
1:06:26	またに関しまして、値を出していると。その両方を足したものと、死没は、
1:06:35	多く影響生成物の投入してすべての投入ってると投入した。
1:06:41	上で、評価式を用いて出した値。
1:06:44	こちらの方比べまして、土地の合計については、Bの方がもっと大きくなるというところがございますので、Bの方を採用しているというところでございます。以上です。
1:07:00	規制庁吉崎です。BとCの数値ってどっか書いてあるんですかね。直接的のどこなんだろうということで、疑問がわいたんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:12	中国電力の後はる少々お待ちください。
1:07:32	中国ディーリングの田原です。当格納施設側の補足説明資料、NS日本ホテルいちいち会ゼロイチの方でご説明いたします。
1:07:43	通しページ。
1:07:46	12 ページ目をお願いいたします。
1:07:53	12 ページ目のですね、上の方から注記で※1 とあります。
1:07:59	ちょっとマスキングにはなりますけれども、ちょっと読み上げますと算影響生成物等乳房すべての異物を考慮したD値から、実機圧損算出方法を用いる等ということで、
1:08:12	全体の値が書いてあります。
1:08:16	その下の方にですね、
1:08:18	どんどん行きますと、化学影響生成機物だけを、
1:08:24	を抜き出したときの、足し合わせた数値が、一番最後のマスキングとかですかね、ちょっと書いてありましてそれよりも小さくなると。
1:08:32	従って、後半部分で書いておりますその値を用いて、今回の評価の方を実施してございます。以上です。
1:08:50	あ、規制庁のヨシザキですアルファベットでいうとどこどこが対象になるんですか。
1:08:55	中国電力の田原です。ちょっとここで、すみません、アルファベットを適切に書いてなかったのあれですけども、1 イコールでそのあとマッピングなってる場所、こちらが先ほどの、
1:09:08	Cポツに該当する。
1:09:11	田井です。
1:09:12	そのあとに、文章書いてありまして圧損上昇分を加算する方法により、
1:09:19	求めた圧損イコール、
1:09:21	このマスキングで書いてありますけどもこちらの方が、先ほどで言いますとBポツに該当するものになります。
1:09:28	以上です。
1:10:06	市長の井関です。
1:10:08	今、説明を受けて、
1:10:10	詳細にこうですって言われてわかったんですけど、少し変わりづらくなってるので、少しBポツとシーボンはどれかというのを明確に示していただきたいんですけど可能でしょうか。
1:10:25	中国電力の田原です。お示す場所を少し反映、検討して、
1:10:32	多分

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:34	ちゃんと保守的であることっていうのが、資料上、わかりやすいほうがいいということのご指摘と理解しましたので、
1:10:41	ちょっと記載箇所を検討しましてですね、
1:10:45	適切に評価条件厳しくなるようにということの、お示しできるようにちょっと記載場所について検討させていただきますけれども、今いただいたコメントについては了解しました。志賀反映したいと思います。以上です。
1:11:00	規制庁井関です。よろしくお願いします。
1:11:02	少々お待ちください。
1:12:00	規制庁仲村ですすみませんちょっとこれ、センコーも同じなんで、確認だけさせていただきますたいんですけど、圧力低減設備の、
1:12:11	比較表の 18 と 19 で、
1:12:16	移行量の評価のところ、恩田とか恩田以外の工場評価で、恩田の方が、
1:12:22	単位が、
1:12:24	m ³ で、下の方が、
1:12:29	恩田以外の方が、キログラムとm ³ で、
1:12:35	記載があるんですけど、これ何で違うかっていうのをご説明いただけますか。
1:12:41	はい。中国電力の田原です。
1:12:44	では、まず 18 ページ目の方ですね、本題の方、ご説明します。
1:12:49	金属反射型本体については
1:12:53	表面積、いろいろ設定しておりますので量としてはそのようにやっております。ただ、試験、その知見においてはそこから、実際には換算してですね。
1:13:04	所定の量、あるよっていうことを整理しております。
1:13:07	続いてパイライト本来につきましては、
1:13:11	形状からいきまして体積で、
1:13:15	要請整理しているところになります。
1:13:19	こちらの方ですね、例えばZOIって言われるものがその破断点からの吸引とか示しますので、その中にあるよっていうことで、
1:13:31	基本的には解析で示しております金属反射型問題につきましては表面積の量でちょっとお示しているところがございます。
1:13:41	19 ページ目の方をお願いします。
1:13:44	本体以外の方、遺物としましては、実際、塗装については、各機器のですね、塗布されている量というものがありますんで、
1:13:57	こちらの方はまずどのくらい、面積塗られているかそれに対して厚さかけてでも、水でっていうことで算定して、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:08	結果としてキログラムで記載しております。それ以外の堆積物につきましては、内規の方ですね、示し、
1:14:18	上げていたかと思えます。とそのまま採用しているというところ。その他異物としましては、ステップ歩いになりますので表面積、
1:14:28	こちらの方へとステッカーというものはストレーナに付着することを前提としていろいろ評価しますので、平米で整理していると。
1:14:36	いうところですね。
1:14:40	成二考慮します耐DBA仕様塗装は先ほどと同様、棟梁については、
1:14:45	範囲で、他関係行政生物につきましても、亜鉛とかアルミの量から算出していきますので、キログラムで整理しているというところ。です。
1:14:56	実際にはですねその試験の時に、どのくらい量。
1:15:00	整理するかというところになりますので、長谷通でお示しています量を入れていいるというところでございます。
1:15:08	説明は以上です。
1:15:12	規制庁仲村ですがわかりました量の算出過程が違うので、それぞれ合わせた量を、単位で帰ってるとのは理解しましたので、
1:15:22	その上でダムですけど、これ実際に、
1:15:27	そのイブ通が入ったことによる圧損の。
1:15:32	計算に使うことになると思うんですけど。
1:15:35	最終的には、
1:15:37	圧損なんで、体積が何かで出されるんですかね、それとも量をそのまま入れて、実際に圧損がし、これぐらいでしたという形になるので、
1:15:48	特にどれぐらいの体積入れたとかそういうことは、そんな試験では見てない。
1:15:57	中国電力の田原です。
1:16:00	圧損試験においてはですね、ちょっと、
1:16:04	補足説明資料、
1:16:05	格納施設側の補足説明資料で、まずご説明したいと思しますので、
1:16:10	通しページの、
1:16:15	20、
1:16:17	8 ページ。
1:16:20	お願いします。
1:16:22	表 3-4 の方に、試験時に投入する試験条件ということで、異物の量を記載しております。実際には金属反射型ホンザイについてはまた、ここから、
1:16:34	関連している所定量入れております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:39	こちらの方を、試験用のプールに入れて、実際にはまわしていきます。で、基本的には、
1:16:49	ちょっと説明を割愛しましたけど、プール内にですね攪拌機の方設けたりしておりましてそれをまわして攪拌させて保守的になるようにといったことも配慮してやっておりますんで。
1:17:02	圧損としましては、
1:17:06	この前のページですかね、26 ページ目。
1:17:11	にありますけども試験概要図を示しておりますが、
1:17:17	入れた量から、
1:17:20	差圧を求めるというわけではなく、ストレナーの前後の差圧を、
1:17:26	単純に測っていて、所定の量を、十分にですね、物が回るように運転して、
1:17:35	制定した後にその前後の射殺を図ってですね、そのあたりから、最終的に、
1:17:42	有効NPSHの評価で用いる。
1:17:45	圧損を計算しているというところになりますので、リブツを、さらに体積 2 とかそういうことはやっておりませんで、異物は試験のプールにですね、導入して、その状態で、
1:18:00	ンポンプ運転してその時のストレナーの差圧をはかっていると、そこから出しているというところ。
1:18:06	以上です。
1:18:58	規制庁ナカムラさんの。
1:19:00	アサツで見てるっていうのはわかりましたで、ちょっと私が疑問に思ってる趣旨っていうのは
1:19:09	例えば
1:19:14	わかりやすいのか。
1:19:18	何かさびへんとか、kgが、数字が書いてあるんですけど。
1:19:24	これを例えば 1 キロ入れると、100 グラムを 10 個に分けて入れるだと。
1:19:32	ストレナーへの配置型と関わってきてサイズが変わってくるんじゃないかなと思ってんですけどそこら辺の試験条件っていうのは、どっかに記載がありますかね。
1:19:46	中国電力の田原です。
1:19:49	紙ゲインの容量につきましてはほぼ、今の補足説明資料ですね、の 30 ページ目以降に、ちょっとまず記載しております。
1:20:01	美馬仲野さんがおっしゃったところで、ITに入れるのかとかそういうところかなと、と思いますが、ちょっとここで 38 ページ目に、試験手順を示しておりますが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:15	この⑤ですね異物の投入順序ということで記載しております。
1:20:21	異物の投入、次のページに、39 ページマスキングですけど、記載しておりますけども、
1:20:30	記載してますように、
1:20:32	各案件を常にまわしてですね
1:20:36	プール内を循環させて、
1:20:39	均衡しないような状態をまず作っています。その上で異物の投入場所については、
1:20:47	固まらないようにですね投入した時に、複数箇所に分けて投入するように配慮して、
1:20:55	やっていますので、そういったところでご回答になってますでしょうか。
1:21:14	規制庁仲村です。すみません
1:21:21	例えば今、まず
1:21:24	3、3、32 ページとかにある。
1:21:30	物の別のサイズってのも決まって、
1:21:33	でて、それを一挙に入れて、拡販計画案するんで、沈降しないとか、そういうイメージでよろしいですか。
1:21:41	中国電力の田原です。はい。ご理解の通りで 32 ページ目にお示しております物のサイズ。こちらはかなり、
1:21:51	細かくやって、
1:21:54	いますけどもこれらを先ほどの通りですね喚起もしながら沈降しないに配慮して、より保守的な条件になるように言っております。実際の共同考えの、
1:22:06	明日と、
1:22:08	今回、SAのサブチャンーを考えた場合にですね吸い込み場所っていうのが 1ヶ所になります。
1:22:15	残留熱大体直径は今、
1:22:19	RHRのストレーナを兼用していますけども、吸込口としては 1ヶ所です。実際にはその反対側っていうのは、流動っていうのは、基本的にはないと思っていますけれども。
1:22:31	それに対しても、を防ぎ、なるように保険金まわしてですね下に人工した。
1:22:38	人口仕掛けるものを上に上げて、より上にまた循環させてですね、よりストレーン付着するとか、そういったことを配慮して試験の方は実施しております。以上です。
1:22:52	規制庁仲村です。はい。了解しましてありがとうございます。
1:22:55	少々お待ちください。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:56	規制庁の吉崎です。当間、金安井本体資料の方で、
1:24:01	元例の方の、
1:24:04	10 ページ。
1:24:07	これはだから、
1:24:09	マルチやCか。
1:24:13	これ最低水位ってマッピングの、S/Pの作成をする。これは上のノーマルウォーターレベル+何だ。
1:24:24	再裁定の新開勉到達議員の、
1:24:29	数字から来ていると理解してよろしいですか。
1:24:41	中国電力の田原です。
1:24:44	サブレーションプールの水位ですけれども、ノーマル、
1:24:49	大田レベルにおける最低水位ということで記載しております。以上です。
1:25:22	規制庁施設の落とすレベルが一番低いところってことで、
1:25:28	よろしいですか。
1:25:32	中国電力の他、はい、ご理解の通りです。
1:25:43	すいません規制庁吉井です。ノーマルウォーターレベル 0。
1:25:48	が、この辺りっていう
1:25:55	中国電力の吉川です。この数字は、保安規定上、LCOで設定してる、一番低い水。
1:26:04	ここで書いてます。以上です。
1:26:11	次長吉崎です説明はわかりました。何か
1:26:15	補足でもいいんで算出の、
1:26:19	べえ、出店先っていうかね、どこから持ってきてるかっていうのも、補足の、
1:26:26	吸い込みのときの最低水位のところに、追記していただきたいんですけどもよろしいですか。
1:26:35	中国電力の高田です。了解しました補欠の方根拠を載せておりますところに注記したいと思います。以上です。
1:26:46	規制庁の井関ですよろしくお願ひします。あと、まだ早いやつのところ、
1:26:52	例えばバー、補足の、
1:26:55	5 ページでもいいんですけども排圧を考慮して、
1:26:59	絶対圧力を出してるんですけども、
1:27:02	ここの計算過程ってのは下に、
1:27:07	出てる。
1:27:11	原理の補足でできるんだけど、
1:27:15	もう 1 個の方は、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:16	入ってなかったんで、ちょっと
1:27:20	安心算出過程書いていただきたいんですけども、可能でしょうか。
1:27:29	中国電力の高田です。失礼しました。権利側との統制もありますのでは。記載したいと思います。
1:27:41	規制庁西崎ですよろしく申し上げます。
1:27:44	そうですね。ちょっと資料行ったり来たりですみませんが、
1:27:49	本体原理の本体側の、
1:27:52	一番最後のページの、
1:27:56	14 ページの、
1:28:00	低圧代替のところですね。
1:28:02	ここはストレーナーがないんですけど、トレーラーがない理由はなぜか説明して ますか。
1:28:19	中国電力の田原です。本体資料でいきますと2 ページ目ですね。冒頭、
1:28:27	ちょっとちょっとご議論させていただきましたけども、2.2 のところで、あと別管 理されたということで
1:28:34	低圧原子炉代替注水槽ですね、こちらのほうを記載しておりまして、基本的に 異物影響なしというところも踏まえましてストレーナのほうは設けておりませ ん。以上です。
1:28:52	規制庁の井関です。そういうことですがちょっと、
1:28:57	水質管理をしてるから、ストレーナーは設けないっていうのが、ちょっとそれは 気がつかなかったの、もう少し明確に説明してもらえますでしょうか。
1:29:25	中国電力の田原です。
1:29:30	ちょっとまくり、繰り返しになって大変申し訳ないですけども、低圧原子炉代 替注水槽につきましては、
1:29:38	ろ過された水なり、そういったように異物管理された水を、
1:29:45	貯蔵しておくということで考えております。
1:29:48	ECCS系のようにですね物が想定されるわけではございませんので、当社とし ましては、そういった工業不要だろうという判断のもと、ストレーナについては
1:30:02	設けてないというのが実態になります。
1:30:04	以上です。
1:30:11	規制庁の吉武です説明は変わりましたので、その説明を追記していただきた いということで、コメントしたんですけども。
1:30:26	中国電力の田原です。今吉崎さんのご指摘は、
1:30:31	原理が本体資料でいくと一番最後のページとか、
1:30:37	ですかね、もしくはその前のページ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:40	含めて、考慮してないっていうのを、何かしらのパラメータに注記を振って説明を追記するようなイメージということで、理解しましたけどよろしいでしょうか。
1:30:52	施設長の吉崎です。はい、その通り。良い、他のところに行くってそういうこれでないから、何でかなと思った。そういう水質管理を、
1:31:03	やるからないということで少し、
1:31:06	わかるように、補足を追記していただきたいというのが、
1:31:13	中国電力の田原です了解しました。当間ストレナーということでですので例えば、ポンプの吸い込み配管圧損とか、そういったところ。
1:31:23	撒かないというところで、注記なりでオペをしたいと思います。以上です。
1:32:24	CTOの出席です、最初の方にコメントしたところのまた再確認だけなんですけど。
1:32:32	ここですね。
1:32:34	これはいいか。
1:32:36	比較のなんだ、元例の比較の。
1:32:41	6 ページのところ、牽引するポンプ、
1:32:44	一番厳しいものは、この、こういう状況、こういう運転時ですよというのが、説明し、
1:32:53	来てもらう、整理してもらえることなんですけども。
1:32:56	その時に何でしょうね。
1:32:59	この組み合わせ、
1:33:02	例えば大量送水車の水中ポンプから、
1:33:07	送水量だとか、あとは大量送水車の海水用だとかって、確かあったと思うんですけど。
1:33:13	その何て言うか、簡単に。
1:33:16	なんていう、
1:33:17	ポンチみたいの、要は、
1:33:19	系統みたいに変えて、これが一番厳しいというふうに、目で見えてわかるようなイメージにしていきたいんですけども、よろしいですか。
1:33:31	中国電力の田原です。はい、了解しました。
1:33:36	設備のカテゴリーといいますか、原子炉例、DCSその他原子炉注水設備、あとは弱低減その他の安全設備に、
1:33:46	として、エントリーされる、
1:33:50	大量送水車の使い方、低圧原子炉代替注水ポンプも同様ですけども、少し組み合わせるとか、この部分ですとか、わかるようなはい、えっと、
1:34:01	資料を準備したいと思います。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:06	はい。よろしくお願いします。
1:34:08	所長、お待ちください。
1:34:47	規制庁仲村です。すみません。格納補足の 65 ページとあと元令和なんですけど。
1:34:55	解析条件をちょっとお互いでちょっと変えられたっていうことで、
1:35:02	書くのと、可搬式窒素供給装置を注入なしにしたっていうことでちょっとすみませんなぜこれを、
1:35:12	やったのかっていうのをちょっと詳しくご説明いただけますか。例えばその、
1:35:17	限度書いてる、格納容器圧力等、雰囲気温度が、を変えるとどうなるとかってそういうことがちょっと詳しくわかるかなと思ひまして。
1:35:30	はい。中国電力の田原です。
1:35:33	格納施設側の、
1:35:36	敷設、65 ページの表でご説明します。
1:35:40	格納容器圧力と雰囲気温度につきましては、RCICとかと同じようにまずパラメータスタディしましたが、
1:35:53	自己傾動と、そういった影響もありましてあまり変化がなかったというのが、まず実態です。で、そうなった時に次へと。
1:36:03	解析条件を下がっていった、次、何が影響するかなっていうところをいろいろ検討しまして、バラバラさした結果として、一番下のですね。
1:36:14	係争中にあり、なしで、ふることで高谷通。
1:36:20	大きさ、小ささっていうのが変化するところ、要は保守性を確保できるところを確認できましたので、解析条件としては、本日お示ししています通り、小さ注入なしところを、
1:36:38	評価条件として、挨拶を厳しくするところ設定したところでございます。以上です。
1:37:14	規制庁仲村です。すみません。内容はわかりました。それで今はその解析条件で
1:37:24	ケース 1 のための解析条件ということで、厳格化は書いてるんですけどちょっと、
1:37:29	今言われたパラメータ振ったとか、そういうことがちょっと。
1:37:34	資料だとわかりづらいので、
1:37:37	どういう条件で注入なしにしたとか、そういうことが、ちょっと記載いただきたい、追加で記載いただきたいと思うんですけどいかがでしょうか。
1:37:49	中国電力の田原です。65 ページ目のですね表の中で例えば雰囲気圧力と雰囲気温度についてはですね、本来低く設定した方が、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:01	低く設定した、することではやつは多分小さくなるだろうと見込んで、
1:38:06	いたんですけれども、実際にやつ確認してみると、各農業圧力が高くなって、あいつが大きくなると、教えがないというところは、実際確認していることを、
1:38:17	文章としては記載させていただいてますが、そこに至る過程ということでパラスタターしたところについて、
1:38:25	充実ということで理解しましたので、この資料の方に追加、その辺りわかる内容をですね、追記したいと思います。以上です。
1:38:36	規制庁の必ずよろしくお願ひしますちよつと簡単に書いてあるのでちよつとそこを追加。
1:38:43	すされる表自体に追加されるか、
1:38:46	何かを作るかってのはちよつと任せますので、わかりやすくしていただきますよろしくお願ひします。
1:38:52	中国電力の田原です。了解しました。
1:42:18	市長の石崎です。
1:42:20	これも大切なんですけど。
1:42:23	本体の 8 ページで一番最初に、
1:42:26	5 ページでは、
1:42:28	本体のご提示で黄色ハッチングのところ、
1:42:34	は高圧代替がCの残留熱のストレナを兼用ってあって、
1:42:41	これはいいんですけど、代替循環のストレナーワー、
1:42:46	RHRのB系でしたっけそれは兼用っていう、書かなくてもよかった。
1:42:53	中国電力の田原です。
1:42:58	黒瀬津川の、
1:43:02	説明書本体、
1:43:04	行きますと、
1:43:07	記載していた記憶はあるんです。
1:43:12	少々お待ちください。
1:43:39	中国電力の田原です。ちよつと
1:43:43	7 ページ、通しページの 7 ページ目。
1:43:47	この施設側の説明書の本体になります。
1:43:50	7 ページ目で、
1:43:56	(1)の、
1:44:00	ところで、
1:44:03	2 行目から 3 行目にかけてですね、残留熱代替除去ポンプ括弧。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:09	残留熱除去系ストレーナを兼用ということで書いておりますけども、B系であることがちょっとわからないので、ちょっと明確にしたいと思います。
1:44:18	以上です。
1:44:20	規制庁の吉崎麻生です。B系から取っていたのに、確かにこっちは非代替。
1:44:27	HパックはCって書いてあって、こっちは書いてないんで、ちょっと。
1:44:31	記載が、
1:44:33	ちぐはぐだなと思って。はい。ではB系というふうに、
1:44:37	明確にさせていただきたいと思います。
1:44:40	少々お待ちください。
1:44:53	規制庁仲村です。こちらの確認は以上となりますけれども、中国人の方から何かありますでしょうか。
1:45:02	中国電力の田原です。こちらからはございません。以上です。
1:45:07	規制庁仲村です。はい、わかりましたそれでは最後にコメントの確認をさせていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。
1:45:16	中国電力の田原です。はい。今日カシマ少々お待ちください。
1:45:42	中国電力のタハラですとか免除見えてるでしょうか。
1:45:48	規制庁中村です。はい。大丈夫です。
1:45:52	はい。中国電力の田原です。ありがとうございます。ではコメント関係確認させていただきます。まず一つ目ですけれども、比嘉元例の比較表の4ページ目ですね。物考慮が不要である理由について拡充を検討すること。
1:46:07	続いて原理比較の4ページ目、水球ポンプの吸込口のフィルター閉塞の回復に要する時間、その他
1:46:20	江藤回復する時間と、あと、
1:46:25	何に対して、短時間かというところですね、その辺、補足説明資料で説明すること。
1:46:33	続いて元例の比較6ページ目、原子炉格納施設側と兼用するポンプについて評価条件の比較アナリスト等、先ほどコメントいただきましたポンプの使用料等ですね。
1:46:45	わかる系統図の記載を検討することと。
1:46:48	四つめとして、格納施設側の比較表、9ページ目、表3-1ですね、加圧過温とDCHの事象の両方を考慮して評価。
1:47:00	条件設定しているということがわかるように記載の充実を検討すること。これは7ページ目、そのちょっと前のページ目。
1:47:08	についても文章の中でも明確に、
1:47:12	する必要がありますのでそちらの方も追記したいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:15	五つ目、格納施設外の比較の 17 ページです。(4)の異物付着による遊んでる者の評価についてBとC。
1:47:26	と記載してますけれどもそれについてですね
1:47:29	補足説明資料でお示している評価結果とちょっと紐づくように記載を検討することということで提起したいと思います。
1:47:37	六つ目ですね。
1:47:43	六つ目ですけども元例の添付 10 ページ目、S/PすITCのスイッチの本体について記載を検討することということでLCO関係の関係を記載したいと。
1:47:56	7、
1:47:57	七つ目ということで書くだけね。
1:47:59	格納施設側の補足 45 ページ、早津の工場について現レイ側の資料等も記載の、
1:48:06	拡充を検討することということで、これも先ほどの開発関係ですね。
1:48:11	自立したい方も、
1:48:13	8 まるめが元例の添付 13 ページ目、
1:48:19	具体的にはFSRになりますけれども、ストレーナーを設置してないポンプにつきまして、評価上、含めてない理由等をですね記載を充実させるということで、
1:48:30	追記したいと思います。9、
1:48:34	オメガ格納施設の補説、65 ページです。残留熱代替除去ポンプの有効NPD評価として、
1:48:44	DCH、窒素吸入なしと。西田。
1:48:48	解析条件として設定した理由として、格納容器圧力、あと雰囲気温度のパラスタした経緯等を記載の充実化ということで追記したいと思う。
1:49:01	15 メガトクラ施設の添付の 7 ページということで最後ですね、ご指摘いただきましたけれども、RHRのスプレーで使用しているストレーナについて、BのRHR。
1:49:14	奈須鳥井のを、けんしていますのでその旨追記することということで、
1:49:19	コメント内容としては以上かと思いますが過不足等あれば、よろしく願います。
1:49:26	規制庁中村です。中身的には特に問題ないと思ってるんですけどちょっとストレーナー考慮しないポンプ、FSARの。
1:49:36	やつなんですけど。
1:49:40	一切ないんです。ないんですかね考慮しないっていうと
1:49:45	実際にはついてるのに、この評価条件上考慮しないっていうふうに見受けられるんですけど、実際はどうなんですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:56	中国電力の田原です。ちょっとすいません今すぐ手元がないんであれですけど、確かになかったと思いますのでちょっと確認。
1:50:05	した上で、記載は検討したいと思う。
1:50:11	規制庁仲間です。了解しました。
1:50:13	ただ、こちらからは、一番下の 10 番は、B系の太エアーっていうふうになるようにしてもらえば、今、
1:50:23	書いてあるんでこのRHRスプレイと兼用っていうのは、それは書いてあるので、
1:50:29	B系ってのがわかんなかったんで、
1:50:31	それを明確にという、
1:50:33	はい。
1:50:36	中国電力の田原です。了解しました。
1:50:42	すみません上の方スクロールしておりますかね。
1:51:14	院長ヨシザキですがOKです。
1:51:18	そちらから何かありますか。
1:51:21	中国電力の田原です。こちらからはございません。
1:51:28	規制庁の神尾ですそれではこれでヒアリング終了させていただきたいと思いません。ありがとうございました。
1:51:34	ありました。
1:51:35	ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。